平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	2	
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	武田　秀一			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。
②①に基づく取組み結果	人材育成基本方針に基づき、研修計画を見直すとともに、平成29年度においては職員のセキュリティ技術に関する知識の向上を図るため、「情報セキュリティ研修」を新設した。

③平成30年度に取組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図（対象をどうするのか）	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている
②事務事業の概要	人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	①平成30年度研修計画の策定 ②階層別研修・実務研修の実施 ③派遣研修・自主研修の実施

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	職員数（二役、教育長を除く）	699	701	711	人	鎌ケ谷市職員配置録
	ii	研修受講人数	1,003	1,282	1,234	人	鎌ケ谷市職員研修概要
	iii	研修受講人数／職員数	143	183	174	%	業務取得

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	3,384	3,224			3,511
国支出金（千円）			671	階層別研修	
県支出金（千円）			319	実務研修	
市債その他（千円）			2,210	派遣研修	
一般財源（千円）	3,384	3,224	20	自主研修	3,511

Ⅳ　評価・検討

①課題	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しとその計画を実施していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	
②計画に対する事業実績	
③達成状況	
④未完了・非着手の理由	

平成29年度事業費の状況（単位：千円）						
計画事業費	予算額			決算額		
	0	当初		0	H28からの繰越	
		H28⇒29繰越			現年分	
		補正				
		流用・充当				
平成30年度への繰越額（単位：千円）						